

学友同窓会報

第 31 号

平成 25 年 7 月 23 日 発行
北海道千歳リハビリテーション学院
学友同窓会会長 永坂圭司
編集 学友同窓会広報局
Email:gakuyu-dousou.since1999@chitose-reha.ac.jp
URL
<http://www.chitose-reha.ac.jp/dousou/>

第15回臨床教育研究会 終了!



去る平成 25 年 4 月 13 日(土)に毎年恒例となっております臨床教育研究会を開催致しました。会場は札幌コンベンションセンターにて行い、151 名の PT・OT の方々に参加して頂きました。内容は「統合的運動連鎖概念と BiNI Approach」で、講師には舟波 真一先生(諏訪赤十字病院 理学療法第一課長補佐)をお迎えしました。講義では、解剖学的な話から始まり、治療のポイントやメカニズムについてデモや動画を交えて BiNI Approach の基本となる考え方を幅広い視点で学びました。参加者からは「新しい知見が聞けて良かった、解剖やデモを交えた内容で非常に興味深く聞けた。」など多数の反響があり、大変有意義な研究会となりました。

《参加者の声》

- ・ 普段の治療を見直すいいきっかけになりました。
- ・ 運動学と神経生理学を結び付けて臨床を行わなければならない事、感覚についても考慮しなければいけないと再認識した。
- ・ 非常に解りやすかった。日々の疑問に思っていることが晴れてきた。
- ・ 運動連鎖の概念を神経系から見る事が出来ました。

など貴重なご意見をたくさんいただきました。

《参加者データ》

今回の研修会は札幌支部、日胆支部、釧根支部を中心に全道各地から多数参加され、卒業期としては幅広い年代の卒業期が揃うなど昨年に引き続き、大変盛況となりました。デモンストレーションでは、席が遠い人でも見やすいようにスクリーンに映して行った事で「みやすかった」「わかりやすかった」などの意見も聞かれました。今後も皆様の貴重なご意見を参考に、有意義な研究会を運営していけるよう邁進していく次第です。

平成24年度定期総会 終了!



平成 25 年 4 月 13 日(土)、第 15 回臨床教育研究会終了後に定期総会が開催されました。総会では平成 24 年度の事業・監査報告、平成 25 年度計画案等の報告を行いました。多数の貴重な御意見を頂き、今後も役員一同、一層の努力をしていきたいと考えております。

新役員改選!!

< 平成 25 年度 役員一覧 >

○会長	: 永坂圭司	OT 7 期	(苫小牧東病院)
○副会長	: 塚田花奈恵	PT 9 期	(北星病院)
○会計	: 有澤沙織	OT 4 期(夜間)	(北星病院)
○事務局長	: 河端新	PT11 期	(北星病院)
事務局員	: 磯野一徳	OT 9 期	(北星病院)
	三上雄也	PT14 期	(北星病院)
	前川晴喜	PT16 期	(北星館)
	長山裕史	PT16 期	(北星病院)
	鈴木啓太	OT13 期	(北星病院)
○学術局長	: 佐藤あかり	PT14 期	(千歳豊友会病院)
学術局員	: 神矢博則	PT14 期	(千歳豊友会病院)
	福士史人	OT 9 期	(千歳豊友会病院)
	河内偉記	OT10 期	(千歳桂病院)
	山田隆二	PT15 期	(千歳豊友会病院)
○広報局長	: 芝本麻子	PT12 期	(苫小牧東病院)
広報局員	: 木村亮太	OT10 期	(苫小牧東病院)
	小林美穂	PT13 期	(苫小牧東病院)
	納谷真萌美	PT13 期	(苫小牧東病院)
	酒井義和	OT11 期	(王子総合病院)
	沢田もも子	PT15 期	(苫小牧東病院)



平成25年度研修会のお知らせ

今年度も学院との共催で勉強会の開催を予定しております。詳細につきましては、現在準備を進めておりますので改めてご案内させていただきます。

日 時：平成 25 年 11 月 16 日(土)
講 師：岩城 宏先生(初台リハビリテーション病院)
テーマ：「チームアプローチについて(仮)」
会 場：会議研修施設 ACU(アキュ)

札幌市中央区北 4 条西 5 丁目 アスティ 45 12 階

※研修会への申し込み方法や場所・参加費など詳しいご案内は後日予定しております。



千歳リハOB紹介

前回までは、過去の同窓会役員の方々を紹介してきましたが、今回から卒業生へ枠を広げ紹介していきたいと思えます。今回は函館脳神経外科病院に勤務されている三上直剛先生を紹介します。



Q. 千歳リハ卒業後の先生の経歴を教えてください。

A. 函館脳神経外科病院勤務 作業療法課の上席主任を務めています。その他は北海道作業療法士会 道南支部 副支部長や南おしま地域リハビリテーション推進会議 副委員長を務めています。



Q. 現在先生が取り組まれている分野や活動について教えてください。

A. 脳神経外科領域にて、「急性期・〇〇早期」からの作業療法支援を業務としております。また、道南地域に「医療と介護」を繋げる役割(地域リハビリテーション)を作業療法士の立場を活用し従事しております。

そんなこんなで、ちょっとしたご縁から、「生活行為向上マネジメントプロジェクト」において、平成 23 年度・24 年度と事業協力病院として研究の手伝いをさせて頂きました。

Q. 今後その分野での展望などがあればお聞かせ下さい。

「地域包括ケア」の言葉は、「高齢者の尊厳を支えるケアの確立」を目指すためのアウトカムであります。作業療法士協会は「地域包括ケア」のあり方に先立ち、「生活行為向上マネジメント」を開発しました。現在、地域の一般高齢者への活用の可能性も含め、「作業をすることで人は健康になれる」という、人の作業に焦点を当てた支援への取り組みは、地域包括ケアの実現に向けて大きく寄与していきます。

地域作業療法は生活行為が継続できる地域システムの構築でもあり、求められる対策と作業療法支援の一つに、生活行為向上マネジメントの活用というわけであります。それぞれの領域や施設でどうすれば効率的・効果的に生活行為の自立に向けた取り組みができるかを検討していきましょう。

Q. 最後に後輩達へメッセージをお願い致します。

学び育んだ千歳市は第二の故郷として、私の記憶の中で輝いています。ぜひとも学友会で、大同窓会を企画してください(笑) ありがとうございました。

P.S. 来年のOT全道研修会はin函館です！皆さまお待ちしております。

三上先生 ありがとうございました！



千歳リハビリテーション学院情報



○学院 新任教諭のご紹介

今年度から学院に着任された先生をご紹介します。

☆小林 匠 先生☆



本年5月より千歳リハビリテーション学院の理学療法学科の教員として勤務させていただいております小林匠と申します。

私は札幌医科大学保健医療学部を卒業した後、神奈川県横浜市スポーツ医科学センターにて勤務し、主に一般の整形外科疾患の患者さんやスポーツ選手のリハビリテーション業務に従事しておりました。また、同時に広島県の広島国際大学大学院にて、主に足関節捻挫の研究を行なってきました。大学院は博士後期課程に在籍中で、現在も研究を継続しております。

この度、縁があつて千歳リハビリテーション学院の教員として8年振りに北海道に戻ってこられ、とても嬉しく思っております。学生の皆さんが楽しい学校生活を送れるように、また一人前の理学療法士として巣立っていけるように、全力でサポートしていきたいと思っております。また、卒業生の皆さまとも学会や勉強会、実習地訪問等で接することができれば幸いです。

教員としては新人ですので、至らない点多々あると思っておりますが、これまでの経験を活かしながら、千歳リハビリテーション学院の発展に少しでも貢献できればと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

小林先生 ありがとうございました！

△▼△▼学友同窓会 会員数△▼△▼

学友同窓会に新たに **PT80名、OT30名** の会員を迎えました。

総会員数は平成25年6月現在で **1315名** となっております。

△▼△▼事務局からのお知らせ△▼△▼

講習会・広報発送後の不在通知が増えてきております。そこで、会員の在籍確認を行っております。氏名変更や職場異動がありましたら、別紙封入しております確認用紙に必要な事項をご記入の上、FAXまたはメールにてご連絡頂きたいと思っております。ご協力宜しくお願い致します。

▼△▼△編集後記△▼△▼

☆今年度の総会も無事に終了しました。新しい役員も加わり、今後も一層努力していきたいと思っております。同窓会や役員について興味のある方は、メールを頂けたら幸いです。

☆〇〇先生の勉強会を開催してほしい、こんな企画があれば参加してみたい等々、皆様からの御意見、要望等をお待ちしております。

☆次回の広報誌発送は1月～2月頃を予定しております。御意見・要望・感想等がありましたら、同窓会宛にメールを頂けたら幸いです。

